

JA全厚連情報

(毎月 1 日 発行)

No.1116 2022 年 6 月 1 日

目 次

- 令和 4 年度診療報酬改定等について協議 事業企画委員会を開催 1
- 沖縄県への看護師派遣 逼迫する医療体制を支援 2

・通信員だより

- 1 階ホールをリニューアル (札幌厚生病院) 3
- 院内保育所バンビ、初めての卒園式 (平鹿総合病院) 4
- 新規採用職員入会式を行いました (大曲厚生医療センター) 5
- 茨城県厚生連看護職 2 名が受賞 (JA 茨城県厚生連) 6
- 地球にやさしいエコバック大作戦 (相模原協同病院) 7
- 特定行為研修開講式を開催 (相模原協同病院) 8
- 令和 4 年度 新採用職員研修会を開催 (JA 神奈川県厚生連) 9
- 医療従事者による情報発信 (清水厚生病院) 10
- 動画セミナーの公開 (遠州病院) 11
- 名誉院長称号授与式を行いました (JA 愛知厚生連) 13
- ホームページをリニューアルしました (江南厚生病院) 14
- 濱田正行名誉院長が県民功労者表彰を受章 (鈴鹿中央総合病院) 15
- JA みえなか「ほほえみ」様からシルバーカーをご寄贈いただきました (松阪中央総合病院) 16



JA全厚連

全国厚生農業協同組合連合会

〒100-6827 東京都千代田区大手町 1-3-1 JAビル

TEL (03) 3212-8000 FAX (03) 3212-8008

E-Mail: shien@ja-zenkoren.or.jp

(経営支援グループ)

<http://www.ja-zenkoren.or.jp>

編集責任者 中村 純誠

令和 4 年度診療報酬改定等について協議

事業企画委員会を開催

本会は5月19日に、東京・大手町のJAビルにおける実開催、およびWeb会議システムを用いたオンライン開催のハイブリッドによる事業企画委員会（医療事業部門・保健事業部門合同開催）を開催した。

協議・報告事項として、（１）新型コロナウイルス感染症にかかる対応、（２）令和３年度経営収支状況による健全性指標とその対応、（３）令和３年度特別交付税措置の活用状況、（４）令和４年度健康管理厚生連活動推進検討会、（５）令和４年度診療報酬改定要望にかかる結果、（６）厚生連職員の研修にかかる検討、（７）事業企画委員会設置・運営規程の見直し、（８）令和４年度事業企画委員会の運営および委員の選出等について検討を行った。

そのうち、（５）について、令和４年度診療報酬改定では、各厚生連からの要望をふまえた20項目の要望事項のうち、一部認められた1項目を含む8項目が認められたことを報告した。委員からは感染対策向上加算1について、体制が整備されていても新型コロナウイルス感染症にかかる重点医療機関でなければ算定できないことを問題視する意見や、価格交渉の負担が大きいことから、薬価の毎年改定の見直しを求める意見等が出された。

また、（６）について、新入職員から経営管理職層までの階層別研修に対応したeラーニングを活用し、各厚生連の研修を内容面とコスト面で支援するほか、本会が実施している集合研修と組み合わせることの研修効果について協議した。

その他、自民党議員連盟「農民の健康を創る会」の令和３年度の活動をまとめた資料を共有した。

沖縄県への看護師派遣

逼迫する医療体制を支援

新型コロナウイルスの新規感染者が過去最多の水準で増加し続けており、病床使用率も高水準である、沖縄県への看護師派遣の要請があり、JA全厚連では各厚生連に看護師派遣を募り、以下のとおり沖縄県へ看護師を派遣する予定となっている。

今後、沖縄県と当該厚生連との間で派遣に関する調整が行われることとなっている。

厚生連名	派遣人数
J A神奈川県厚生連	1 名
J A愛知厚生連	2 名（調整中）





1 階ホールをリニューアル

(JA北海道厚生連・札幌厚生病院)

札幌厚生病院（髭修平院長）では、1階ホールをリニューアルし、より一層患者様が利用しやすい院内づくりを目指してまいります。

【1階待合ホール】

1階ホールを中心として各外来、検査室前など200脚程度を衛生面に優れた抗菌タイプの椅子にリニューアルいたしました。



1 階待合ホール

【連携医療機関パネル】

当院は令和3年9月より地域医療支援病院の承認を受けているため、「かかりつけ医」との役割を明確にすることが求められており、積極的な逆紹介に向けて連携医療機関との関係を示す目印として皆様にご理解いただけるよう、約260の医療機関を地域ごとに集約した連携医療機関パネルを設置いたしました。



連携医療機関パネル(約 260 医療機関)

【院内カフェ（タリーズコーヒー）】

当院をご利用いただいている患者様はもちろん、病院で働く職員にもほっとできる時間を提供したいとの思いから、コーヒーチェーン「タリーズコーヒー」を病院内のカフェとしてオープンいたしました。



院内カフェ(タリーズコーヒー)

【デジタルサイネージ】

駅や商業施設などで見かけるデジタルサイネージの設置を7月に予定しております。コンテンツは病院からの案内だけではなく、バス時刻表や天気、ニュース等を掲載するほか、1台はタッチパネルで当院と連携している医療機関の情報検索が可能となる予定です。



デジタルサイネージ(7月設置予定)

(吉田亜希通信員)

院内保育所バンビ、初めての卒園式

(JA秋田厚生連・平鹿総合病院)

平鹿総合病院（齊藤研病院長）では3月18日、院内保育所バンビの卒園式を執り行い、2人の園児がめでたく卒園を迎えました。平成26年11月に開園して以来、卒園を迎える園児は初めてで、バンビ初の卒園式となり、保育所スタッフ一同が何日も前から入念に準備を進めてきました。卒園証書や出席者にお渡しする式次第は心を込めて手作りしました。会場も手作りの装飾と鉢植えのお花で明るく綺麗に彩り、晴れの舞台を整えました。

卒園式には、ご両親、院長、事務長、保育所スタッフ一同と在園児6人が出席しました。2人の卒園児の入場から始まり、齊藤研院長からの卒園証書授与と挨拶、在園児からのお祝いの言葉、卒園児によるお別れの言葉と続き、最後に保護者が卒園児への手紙を読み上げ、2人が退場し、閉会しました。式では随所に“歌”が盛り込まれ、元気いっぱい一生懸命歌う園児たちの姿が可愛らしく思わず顔がほころびました。「保育所での思い出は一生忘れないでしょう」という齊藤院長の言葉を真剣な眼差しで聞く2人の姿が印象的でした。また、子どもへの手紙を読みながら感泣するお母さんの姿を見て思わずもらい泣きしてしまいました。退場の際、一気に緊張が解けたのか、お父さんとお母さんにグーッと抱き着いた2人の姿がとても感動的でした。バンビ初の卒園式でしたが、笑顔と涙、そして沢山の感動に溢れた素晴らしい卒園式でした。

卒園を迎えられたお2人が、バンビでの思い出を忘れず、小学校でも健やかで元気に過ごせるよう心から願っております。また、初めてにも関わらず、素晴らしい卒園式を作り上げてくれた保育所スタッフ一同に心より感謝を申し上げます。



卒園式の様子

るよう心から願っております。また、初めてにも関わらず、素晴らしい卒園式を作り上げてくれた保育所スタッフ一同に心より感謝を申し上げます。

(三浦由佳通信員)

新規採用職員入会式を行いました

(J A秋田厚生連・大曲厚生医療センター)

大曲厚生医療センター（三浦雅人病院長）では、令和4年度がスタートした4月1日、新規採用職員入会式が行われました。例年、新入職員の入会式はJ A秋田厚生連グループ全体として本所で行いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各病院で行うこととなりました。

式では始めに、三浦雅人院長より28名の新規採用職員一人ひとりに対し辞令書を交付し、新規採用職員は真剣な面持ちで受け取りました。その後、ビデオメッセージにより斉藤一志経営管理委員会会長から歓迎の挨拶が送られ、続いて三浦院長からも、「当院は職員ファーストを掲げており、職員が働きやすく、ハラスメントのない職場づくりを目指しておりますので、安心して働いてください」と、新規採用職員へ激励の言葉が送られました。

令和4年度、当院の新規採用職員は研修医6名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、理学療法士1名、作業療法士1名、臨床工学技士1名、看護師17名の28名です。それぞれが自覚と責任感を胸に医療従事者として第1歩を踏み出しました。

入会式終了後は、早速、新入職員研修会が行われ、病院の概況や院内各部門についての説明を受けた後、『「社会人になる」とは』をテーマにオンラインによる厚生連9病院の全体研修会が行われました。新入職員はそれぞれ事前にeラーニングで、決められたトピックを受講した上で本全体研修に臨んでおり、事前学習を振り返りながら、社会人として第一歩を踏み出すための心構えを学びました。参加者は初対面同士で話し合ったり、実際にその場に立ってお辞儀や礼の動作を行ったりと、座学だけでなく実体験を交えた研修を受け、有意義な学びの場となりました。



新入職員研修会の様子

(三浦由佳通信員)

茨城県厚生連看護職 2 名が受賞

(J A 茨城県厚生連)

J A 茨城県厚生連（酒井義法・代表理事理事長）では 5 月 15 日、公益社団法人茨城県看護協会が主催する第 58 回いばらき看護の祭典が、ザ・ヒロサワ・シティ会館にて開催されました。同祭典では、県内で看護業務に献身的に従事して功績を上げた方への茨城県優良看護職員知事表彰授与式が行われました。J A 茨城県厚生連からは、土浦協同病院附属看護専門学校より大川和子副学校長兼教務部長、土浦協同病院より遠藤香織看護師長の 2 名が表彰を受けました。

受賞について、大川和子副学校長兼教務部長は「これまで県内で従事する看護師の育成に励み、多くの方々の出会いと支えによって幾度の困難を乗り越えることができた。これからも社会のニーズに応じた看護師教育に貢献できるように努めていきたい」、そして、遠藤香織看護師長は、「助産師として仕事を継続できたのは職場の諸先輩方の指導や支援だけでなく、今まで出会った妊産褥婦からの言葉も糧となった。今後も周産期医療の発展に貢献できるように邁進していきたい」とそれぞれ感想を述べました。



表彰を受けた茨城県厚生連看護職員

(酒井一彦通信員)

地球にやさしいエコバック大作戦

(J A神奈川県厚生連・相模原協同病院)

相模原協同病院（井關治和病院長）は、令和4年4月5日に「地球にやさしいエコバック大作戦」で制作されたエコバックの配布を行いました。

当院近隣の相模原市立内出中学校の生徒さんが「SDG sを地域に広めたい!」との想いで企画制作し、寄贈していただいたものです。古着を集め、それをエコバックに生まれ変わらせることで、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」とは違い、地球にある資源を循環させます。そうすることで、資源やエネルギーの消費、廃棄物の発生を少なくし、環境への負荷減らすことができます。内出中学校の皆さんありがとうございました!



きれいに色付けされたエコバック



大切に使用させていただきます

(新嶋友梨恵通信員)

特定行為研修開講式を開催

(J A神奈川県厚生連・相模原協同病院)

相模原協同病院（井關治和病院長）は、令和4年4月9日に令和4年度特定行為研修開講式を開催しました。

特定行為研修とは、厚生労働省で「看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修であって、特定行為区分ごとに特定行為研修の基準に適合するものであること」と定められています。

特定行為研修を修了することで、通常は医師に判断や指示を仰いでいたのが、医師の作成する手順書に従って、自己の判断で診療補助を行えるようになります。当院では昨年度より取り組んでいる研修会であり、本年度は2名の看護師さんが受講されます。



病院長より激励のお言葉



受講生



受講生との記念写真

(新嶋友梨恵通信員)

令和4年度 新採用職員研修会を開催

(JA神奈川県厚生連)

JA神奈川県厚生連（高野靖悟・代表理事理事長）は、令和4年4月4日に令和4年度新採用職員研修会を開催しました。

厚生連の概要や就業規則の説明から始まり、伊勢原協同病院患者総合サポートセンター医療相談室 五艘室長（公認心理師）を講師に「新社会人のストレスマネジメント」研修を行いました。ストレスへの向き合い方の講義の後、令和4年度をどんな一年にしたいか、抱負や期待を込め今年の一文字を各自決め、グループで一文を作成する時間が設けられました。活発な意見交換や発表が行われており、新社会人としての意気込みが伺えました。



意見交換の様子



グループごとの発表の様子

(新嶋友梨恵通信員)

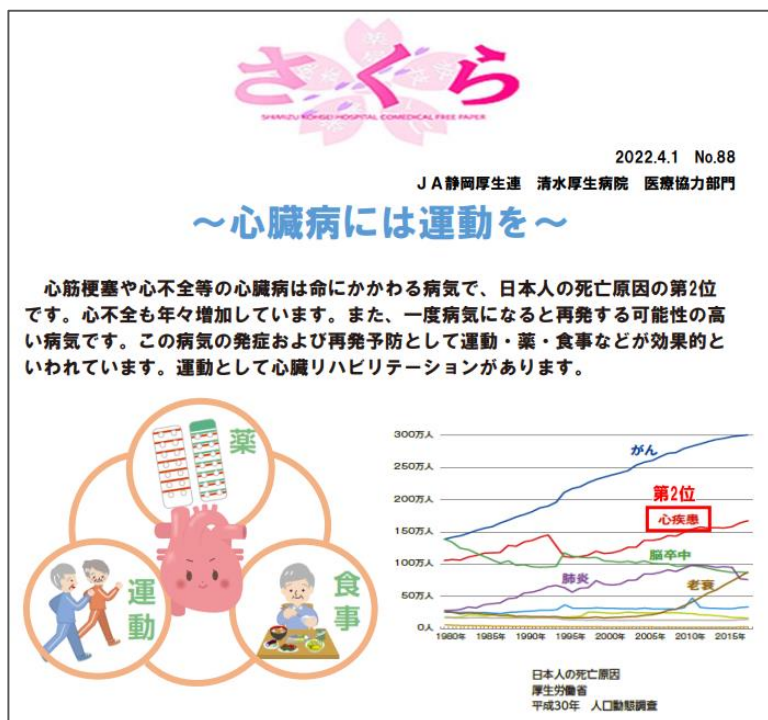
医療従事者による情報発信

(JA静岡厚生連・清水厚生病院)

清水厚生病院（西村明病院長）では、定期的に薬局・放射線科・臨床検査科・リハビリテーション科・栄養科・臨床工学科等による情報誌「さくら」を発行しています。

各部門から病院に関する話題や疑問などを紹介しています。ぜひ、ホームページへアクセスしご覧ください。

過去のバックナンバーもホームページに掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。



情報誌「さくら」

病院 HP 内「さくら通信」バックナンバーはこちら

<http://www.ja-shizuoka.or.jp/k-shimizu/guide/sakura-ichiran.html>

JA 静岡厚生連
清水厚生病院

ご利用の皆様へ 病院のご案内 診療部門のご案内 交通・アクセス

病院のご案内

● 病院理念・概要
● 病院院長挨拶
● 各部門ご紹介
● 看護部
● 地域連携センター

医療協力部門 情報誌 『さくら』

当院の医療協力部門（薬局、臨床検査科、放射線技術科、リハビリテーション科、栄養科、眼科視能訓練士）が丸となって作成している患者さまのための情報誌です。

病院に関する話題や疑問など皆様の目線から見た分かりやすい、さらに医療をもっと興味をもって頂けるような情報を提供できればと発行しております。

病院 HP 内「さくら通信」

(望月俊宏通信員)

動画セミナーの公開

(J A 静岡厚生連・遠州病院)

遠州病院（大石強病院長）はプレミアムセミナーと題して、ホームページ上に医師による3つの医療に関する動画を公開しています。

テーマは『子宮頸がんとHPVワクチン』、『腎代替療法について2022』、『月経困難症と当院の腹腔鏡手術について』です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各種健康講座や講演会の開催が制限されておりますが、ぜひこの機会にホームページへアクセスしご視聴ください。

病院HPアドレス:<https://k-enshu.ja-shizuoka.or.jp/information/kanri>

JA静岡厚生連 遠州病院
JA SHIZUOKA KOHSEIREN ENSHU HOSPITAL

お知らせ 当院について 診療科・各部門 健診・人間ドック 外来受診 入院・面会

心と心のふれあう医療

診療科一覧はこちら

お問合せ電話
053-453-1111
外来診療受付時間 8:30~11:00

営業時間・受診の方法

●営業日のご案内
2022年 3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■外来休診日

重要なお知らせ

- 1月8日(土)より面会禁止とさせていただきます(令和4年1月6日更新)
- 厚生労働省提示、病院再編要請対象医療機関の訂正について
- 医師との面談時間について

病院からののお知らせ

- ニュース 遠州病院プレミアムセミナーのご案内
- ニュース 小児のコロナワクチン接種予約について
- ニュース 令和4年度の人間ドック・健康診断・脳ドックのご予約を開始致しました!!
- ニュース 病診連携室だより(2022.2月号)
- ニュース 全面再開のお知らせ (2/4更新)

求人情報

わたしたちと一緒に働きませんか!

プレミアムセミナー

演題1 子宮頸がんとHPVワクチン



演題2 腎代替療法について



演題3 月経困難症と当院の腹腔鏡手術について



医師による3つの医療に関する動画

(望月俊宏通信員)

名誉院長称号授与式を行いました

(JA愛知厚生連)

JA愛知厚生連(宇野修二・代表理事理事長)では、4月20日名鉄グランドホテルにて、名誉院長称号授与式を行いました。

理事長より「多年に渡り病院長として、地域医療の向上ならびに病院の発展に尽力された功績は誠に大きく本会の誇りにするところであります。誠にありがとうございました。」と感謝の言葉が述べられ、渥美病院 長谷名誉院長、豊田厚生病院 川口名誉院長、知多厚生病院 水野名誉院長に対し表彰状が渡されました。

3名誉院長とも、引き続き各病院で継続勤務されます。



3名誉院長を囲む役員・監事ら理事会メンバー

(井桁千聡通信員)

ホームページをリニューアルしました

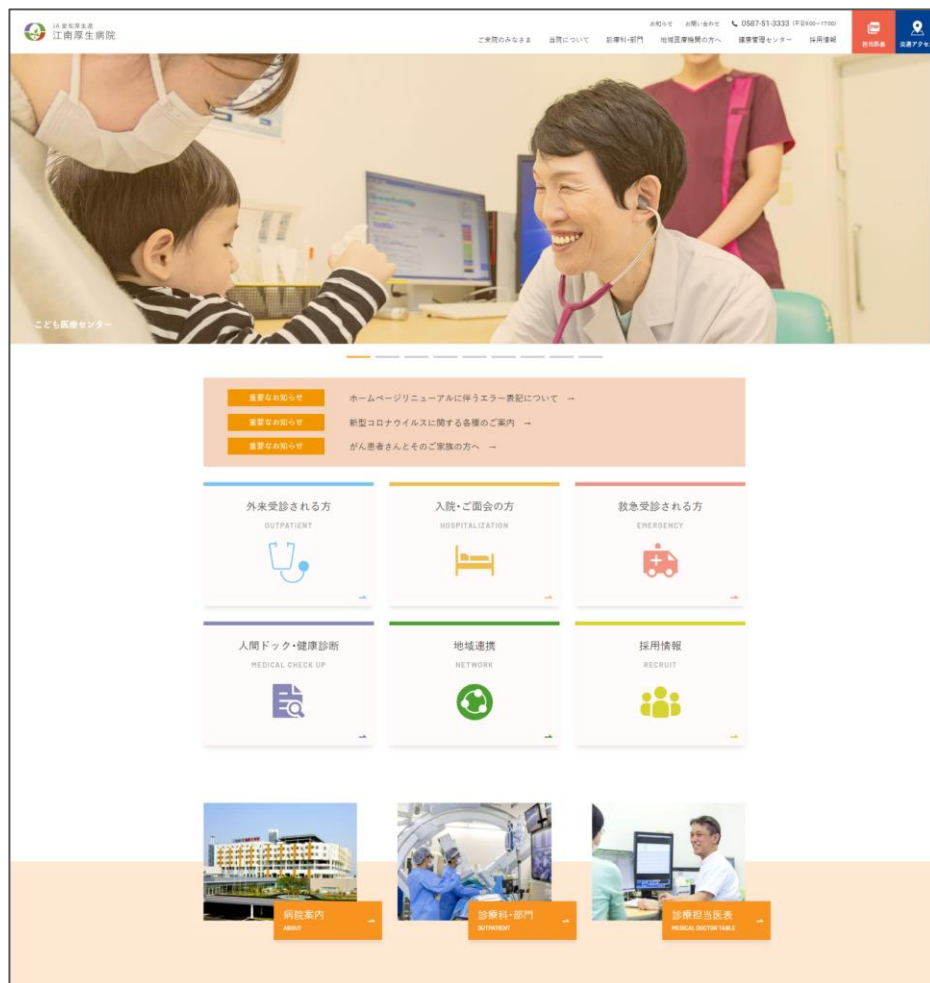
(JA愛知厚生連・江南厚生病院)

江南厚生病院（河野彰夫病院長）では、3月31日、江南厚生病院のホームページをリニューアルいたしました。

開院後初めてリニューアルしたホームページは、病院の建物のアクセントとなっているオレンジ色を基調としたデザインとしました。

今後、病院の各種情報を積極的に配信していきますので、皆さま、ぜひご覧ください！

江南厚生病院ホームページ <https://konankosei.jp/>



素敵な表情で働くスタッフの写真も見どころです！

(井桁千聡通信員)

濱田正行名誉院長が県民功労者表彰を受章

(J A 三重厚生連・鈴鹿中央総合病院)

鈴鹿中央総合病院（森 拓也病院長）の濱田正行名誉院長が、三重県の県民功労者表彰（保健衛生功労）を受章され、令和4年4月14日三重県庁講堂において一見勝之三重県知事より表彰されました。

濱田名誉院長は三重県病院協会理事長、鈴鹿市医師会副会長として、県内の医療政策の推進と地域医療の充実に献身的な努力を重ねられたこと、また鈴鹿中央総合病院院長として、鈴鹿市における二次救急医療の基幹病院としての重責を担われたことについて、医療の充実に寄与した功績により受章されました。

濱田名誉院長は、「今回の県民功労者表彰は、三重県病院協会の役員として、三重県における医師過疎地域（伊賀地域、東紀州地域）への医師支援（バディホスピタル制度）、東日本大震災への、県、大学病院、県医師会、県看護協会と県病院協会挙げての救護活動を、岩手県陸前高田市に対して行ったことが評価いただいたと思いますが、全ての業績はひとえにご協力下さった皆様のお陰と感謝しております。」と受章の喜びを述べられました。



濱田正行名誉院長 県民功労者表彰

(教来石信彦通信員)

JAみえなか「ほほえみ」様から シルバーカーをご寄贈いただきました

(JA三重厚生連・松阪中央総合病院)

松阪中央総合病院（田端正己病院長）では、JAみえなか助け合い組織「ほほえみ」（福田千代子会長）からシルバーカー10台を寄贈いただきました。

コロナ禍前は、同病院玄関にて来院される患者様への案内や車椅子・シルバーカーの介助等、病院ボランティア活動をしていただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い活動を休止せざるを得ない状況が続いています。今回の寄贈は、2年間にわたりボランティア活動ができなかった代わりとしていただきました。

令和4年4月21日松阪中央総合病院において寄贈式が行われ、福田会長から田端院長に贈呈されました。

田端院長は、「貴重な品を寄贈いただきありがとうございます。有効に活用させていただきます。」と謝意を述べました。

寄贈されたシルバーカーは病院玄関に配備され、来院患者様にお使いいただきます。



シルバーカー寄贈式の様子

(教来石信彦通信員)